

いのちとくらしをまもる  
防災減災

令和3年8月23日  
大阪管区気象台

令和3年8月11日から20日にかけての  
前線による大雨について  
(大阪管区気象台管内：近畿・中国・四国地方の気象速報)

前線による大雨について、気象状況を気象速報としてまとめました。

【気象の概要等】

8月11日頃から19日頃にかけて前線が西日本に長期間に渡って停滞し、前線に向かって太平洋高気圧の縁を回る湿った空気が持続的に流れ込んだため、西日本の広い範囲で断続的に雨が降り続いた。

近畿地方や中国地方、四国地方の各地で11日から20日にかけて降水量が8月の月降水量の平年値の3倍以上の降水量となる所があるなど記録的な大雨となった。8月11日08時から20日24時までの積算降水量は、岡山県井原市佐屋で420.0ミリ、京都府長岡京で485.5ミリと、8月の月降水量の平年値の3倍以上を観測した。

この一連の大雨により、各地で土砂災害や浸水害、洪水害が相次いで発生し、広島県と島根県では、13日から14日にかけて江の川が氾濫し、床上浸水等の被害が発生した。特に前線の活動が活発となった13日から14日は、中国地方を中心に線状降水帯が形成されて顕著な大雨に関する情報が発表されるなど雨が強まり、広島県では大雨特別警報が発表された。

この影響により、近畿地方、中国地方（山口県を除く）、四国地方では、死者1名、負傷者3名のほか、住家の全壊3棟、半壊6棟、一部損壊56棟、床上浸水147棟、床下浸水320棟の被害があった。【被害状況：23日08時30分現在、消防庁災害対策本部調べ】

なお、詳細は以下のURLからご覧になれます。

[https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20210823\\_kanku.pdf](https://www.data.jma.go.jp/osaka/kikou/saigai/pdf/sokuhou/20210823_kanku.pdf)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです（23日11時現在）。  
そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

問合せ先：気象防災部 防災調査課 担当 山本・河手

電話 06-6949-6308